

令和5(2023)年1月18日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター

「第6回 日文研－京都アカデミックブリッジ」開催のお知らせ

国際日本文化研究センター(日文研)は、京都新聞社と連携し、これまでの研究や最新成果を市民の皆さまに発信することを目的として、京都市中心部の会場で継続的に「日文研－京都アカデミックブリッジ」を開催しています。

第6回目は、京都新聞文化ホール(京都新聞ビル7階)を会場として、下記のとおり開催しますので、周知へのご協力をよろしくお願いいたします。取材を希望されるメディアの皆様は、下記事務局の京都新聞COM事業推進局開発推進部に、事前にご連絡ください。

記

- タイトル: 第6回 日文研－京都アカデミックブリッジ
- テーマ: 「東シナ海が生んだ京文化」
- 日時: 2023年2月14日(火) 18:00-20:00(開場17:30)
- 会場: 京都新聞文化ホール
(京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞ビル7階)
- 参加料: 無料、要申込(定員100名、応募多数の場合は抽選)
- 内容: 日本列島と朝鮮半島、ユーラシア大陸を結んできた東シナ海。遣唐使の時代から僧侶、商人らが相互に往来し、仏教の教えや文物が伝えられ、9世紀以降の京では、遠い大陸の影響を反映した文化が華開きました。国際交流都市としての京が取り込んだ当時の最新文化、国内外の文化が溶け合って生まれた新しい芸術や世界観について、東アジア各国の気鋭の若手研究者がディスカッションします。
 - 【1】パネルディスカッション
 - 【パネリスト】
鄭 淳一(じょん すにる) 高麗大学歴史教育科副教授／日文研外国人研究員
朱 莉麗(しゅ りれい) 復旦大学文史研究院副研究員／日文研外国人研究員
本多 潤子(ほんだ じゅんこ) 相国寺承天閣美術館学芸員
 - 【進行】
榎本 渉(えのもと わたる) 日文研准教授
 - 【2】質疑応答

※日本語で行います。詳細については、以下のURLをご参照ください。

https://www.nichibun.ac.jp/ja/events/academic_bridge/2023/02/14/

本件お問い合わせ先:

事務局 京都新聞COM事業推進局開発推進部

TEL: 075-255-9757 (平日10:00-17:00) E-mail: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

○申し込み方法:参加をご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(複数名参加希望の場合は全員の必要事項)を明記のうえ、はがき、Eメールまたは応募フォームからお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選を行います。参加者にはがき(聴講券)を発送しますので、当日持参してください。

応募締め切り:2023年2月1日(水)必着

○申 込 先:【は が き】〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞COM事業推進局内
「日文研-京都アカデミックブリッジ」係

【E - m a i l】keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

【応募フォーム】https://kyoto-np.jp/_FiYYMVA

○主 催:国際日本文化研究センター、京都新聞

○協 力:文化庁 地域文化創生本部

○別 添 資 料:第6回 日文研-京都アカデミック ブリッジ広報チラシ

